

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

OLYMPUS Investor Day 2017

16CSP Overview

2017年9月13日
オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員
笹 宏行

16CSP

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料のうち、医薬品医療機器等法未承認品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

持続的発展に向けた取り組み

16CSP 振り返り

16CSP 経営目標の達成に向けた道筋

持続的発展に向けた取り組み

16CSP 振り返り

16CSP 経営目標の達成に向けた道筋

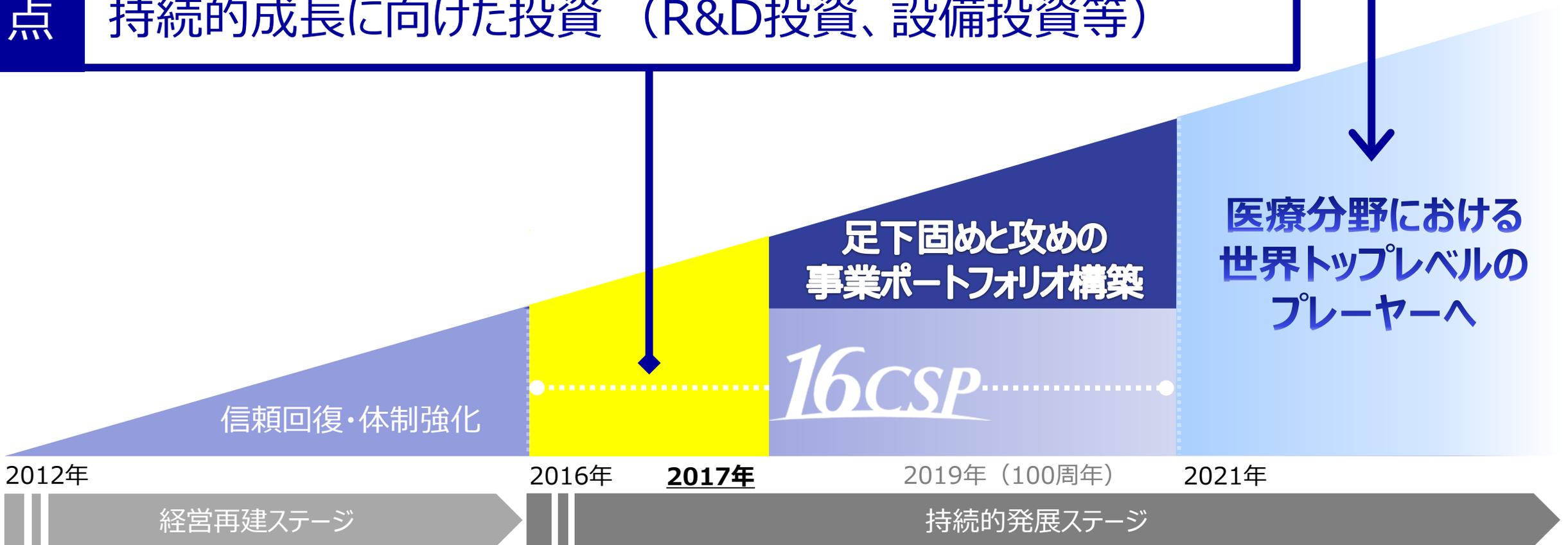
持続的な発展に向けた取り組み

長期視点

財務体質の強化

経営・事業基盤の強化 (業務の効率化・生産性の向上)

持続的成長に向けた投資 (R&D投資、設備投資等)



持続的発展に向けた取り組み

16CSP 振り返り

16CSP 経営目標の達成に向けた道筋

16CSP 振り返り – 経営目標（指標） –

■ 事業収益性（営業利益率）、事業成長性（EBITDA）に課題

	2017年3月期 (IFRS・実績)	16CSP 経営目標
資本効率性 ROE	11%	15%
事業収益性 営業利益率	10% (為替影響調整後 13%)	15%以上
事業成長性 EBITDA※	▲16% (為替影響調整後 +6%)	期間平均成長率 2桁
健全性 自己資本比率	41%	50%

1

事業成長に向けた積極的取り組み

2

必要経営資源の適時確保・最大活用

3

持続的成長を可能とする将来に向けた仕込み

4

更なる事業効率の追求

5

グローバル・グループ連結経営深化に向けた体制強化

6

コンプライアンスの徹底、品質・製品法規制対応、内部体制の強化

1

事業成長に向けた積極的取り組み

- 医療・科学・映像の各事業において主力の新製品を投入し、成長に向けて製品ラインアップを拡充（事業成長性（売上高成長）の観点では課題）

医療

VISERA ELITE II

Contained Tissue Extraction System※
(PKデバイス)

EZ Shot 3 Plus



科学

FV3000
(レーザー走査型顕微鏡)

IPLEX NX
(工業用内視鏡)

VANTA
(蛍光X線分析計)



映像

OM-D E-M1 Mark II
M.ZUIKO DIGITAL ED
12-100mm F4.0 IS PRO



Camera GP Japan 2017 大賞

Camera GP Japan 2017 レンズ賞

Camera GP Japan 2017 あなたが選ぶベストカメラ賞

4

更なる事業効率の追求

- 業務改革プロジェクト始動
- 効率性向上・生産性向上を進め、営業利益率15%以上（経営目標）の実現を図る



6

コンプライアンスの徹底、品質・製品法規制対応、内部体制の強化

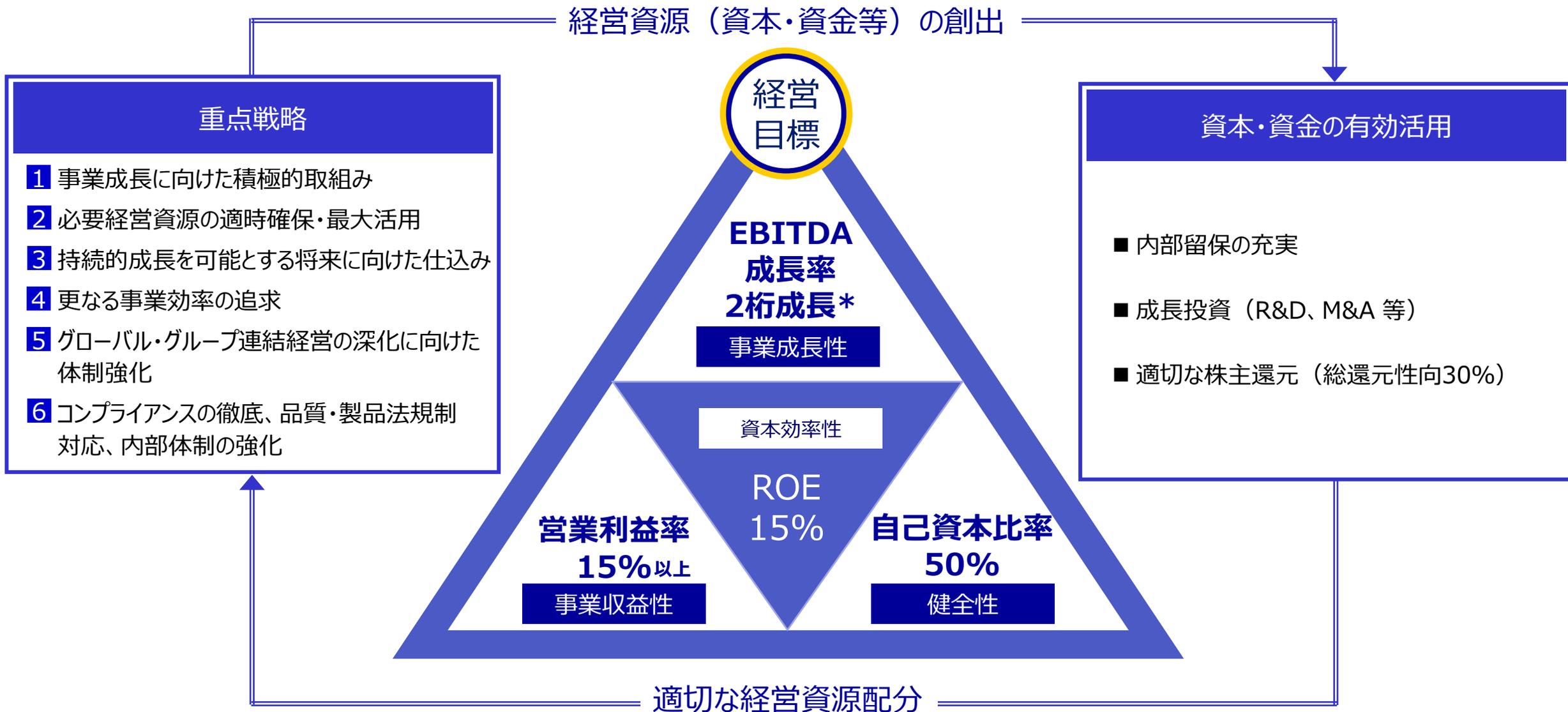
- オリンパスグループ全体のコンプライアンス意識の徹底のため、グローバルオペレーションチームを立ち上げ
- 「オリンパスグループ品質方針」に基づき、継続的に品質マネジメントシステムを強化
 - ✓ 医療事業を中心とした品質法規制部門の要員拡充
 - ✓ 法規制対応・製品登録機能・市販後の安全管理の強化
 - ✓ 技術開発から製造、市販後の管理までの各プロセスのルールや手順の見直し・改善

持続的発展に向けた取り組み

16CSP 振り返り

16CSP 経営目標の達成に向けた道筋

16CSP 経営目標の達成に向けた道筋



OLYMPUS
